

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3873700441
法人名	医療法人青峰会
事業所名	アクティブライフ保内
所在地	八幡浜市宮内1番耕地324番地（電話）0894-36-2103
自己評価作成日	平成21年8月26日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年9月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

男性入居者は毎朝、髭剃りの声掛けをしている。
医療連携体制により、主治医と看護師に指示を仰ぐ事が出来るので安心感もてる。
家庭菜園で野菜を育て、食卓に出し、利用者と楽しんでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

玄関の出入りは、チャイムが鳴るようになっており、職員同士で声をかけ合い、利用者の安全を見守っておられる。昼夜を問わず「帰りたい」と言われる利用者には、職員は、ご本人が納得して事業所に戻れるよう付き添い、支援されている。毎月の法人での勉強会に職員は交代で出席され、身体拘束についても勉強されている。
地域の秋祭り時、利用者がはぐれた際に、地域の「助け合いネットワーク」で探していただいたこともある。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる （参考項目：23,24,25）	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています （参考項目：9,10,19）
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある （参考項目：18,38）	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている （参考項目：2,20）
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている （参考項目：38）	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている （参考項目：4）
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている （参考項目：36,37）	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている （参考項目：11,12）
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている （参考項目：49）	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている （参考項目：30,31）	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている （参考項目：28）	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 アクティブライフ保内

(ユニット名) A棟

記入者(管理者)
氏名 越智 富美子

評価完了日 21年 8月 26 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 玄関に理念を掲示し、実践できるよう取り組みをしている。地域との交流は、努力はしているがまだ充分とはいえない。	
			(外部評価) 事業所では、職員で話し合い、「地域・家族・ホーム間における相互のふれあいを大切にし、笑顔あふれるその人らしい生活を支援する」と理念を掲げておられ、職員が集まる際、理念に基づいた支援になっているかということを確認されている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域の方とは、気軽に声をかけたり、こちらに立ち寄ってもらえる様な交流は出来ていない運営推進会議で交流ができる位である。	
			(外部評価) 地区の盆踊りを見学に行かれたり、地域の避難訓練や清掃活動には、職員と利用者で参加された。 職員間で「ご近所の方達にあいさつをしよう」と話し合われている。日々の地域の方達とのかかわりの中から、地域との関係が作れるよう取り組みを重ねてほしい。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 利用者への支援が精一杯で、地域に向けての支援はできていない。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>会議を通し、情報交換、利用者やその家族の意見な ど、サービスにつながるものがあれば話し合い、実践 している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>会議は3ヶ月に一回開催されており、出席者からは多 くの意見やアイデアをいただいている。会議には、日 赤奉仕団の方の出席があり、敬老会時には、踊りを披 露していただけることになっていた。ご家族から 「ホームにどこから入ったらいいのかわからない」と いう意見があり、現在、ユニット毎の入口が分かる看 板を作っておられる。</p>	<p>会議では、いろいろな立場の方に参加を得て、ご意見 をいただくためにも、会議開催についての働きかけ等 の工夫が期待される。又、会議に出席できない方達に ついては、会議時、話し合われた内容等を報告されて はどうだろうか。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>市内GH連絡会議等も開催されており相談など、解決に 向け協力して頂いている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>地域の秋祭り時、利用者がはぐれた際に、地域の「助 け合いネットワーク」で探していただいたこともあ る。</p>	<p>市の担当者の方と運営推進会議の開催日時について相 談されたり、事業所で行っている活動等について市に 知っていただけるような報告の工夫をされてみてはど うだろうか。同業者が集まる会等でも、工夫について 話し合われてはどうだろうか。</p>
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関、窓などは、開放し、身体拘束をしない自由なケ アに取り組んでいる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関の出入りは、チャイムが鳴るようになっており、 職員同士で声をかけ合い、利用者の安全を見守ってお られる。昼夜を問わず「帰りたい」と言われる利用者 には、職員は、ご本人が納得して事業所に戻れるよう 付き添い、支援されている。毎月の法人での勉強会に 職員は交代で出席され、身体拘束についても勉強され ている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 法人の研修会で学ぶ機会を持っている。利用者の自宅にまでは、注意を払うには至っていない。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 職員は研修会に交代んい参加しており勉強会の機会を持っている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 重要事項説明書の内容の説明は丁寧に行っている、契約には十分な時間をかけ不明な点、疑問点はすぐに回答するようにしている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 介護相談員の来所で聞いてもらったり申し送りや、スタッフ会で話し合い、解決に向けて取り組んでいる。 (外部評価) 毎月発行されている事業所新聞「ブルーベリー」には、行事時の利用者の様子を知らせる写真や、法人内施設から事業所に異動となった職員のことについても載せられている。又、新聞とともに個別にお手紙を添えておられ、ご家族等に日頃のご意見や要望を聞くようにされている。	運営推進会議の議事録や自己・外部・家族評価結果等をご家族にも報告され、さらに事業所全体の取り組みを知ってもらってはどうか。運営についての具体的な報告に取り組み、ご意見を引き出すきっかけにされてはどうか。又、職員の利用者への対応等についても、意見をうかがう機会を作ってはどうか。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月1回スタッフ会を開き、意見を出し合っている。年に2回、管理者と面談する機会がある。意見や提案をその都度出している。	
			(外部評価) 毎月の職員会や日々、職員同士で意見を出し合う中で課題が解決されている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 資格をとると準社員や正社員に登用されたり少しずつは、給料があがっている。通勤距離、労働時間など契約にともない職場環境の整備に努めていると思う。	
			(外部評価)	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 法人内では、毎月勉強会があり1~2名ずつ参加している。法人外では、研修の案内があり交代で参加している。	
			(外部評価)	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 管理者は、研修などがあり、交流できているが職員の交流は、少ない。	
			(外部評価)	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 管理者が、入所前に面談したり、家族が施設見学に来られたりして、相談をうけたりする。法人内の病院から、入所する人も多く、サマリーなどを参考にして、本人の関わりをもつよう努めている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 管理者が、入所前に面会に行ったり家族が事前に施設見学に来たりして、家族からの相談に応じている。管理者が入所前に要望等を伺い、職員にも伝えている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) サービス計画書を作成して、家族に了解のもと支援している。GHとしてできる対応に努めている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 洗濯たたみや物作りなど、できるものは一緒に作業をしながらコミュニケーションをはかり得意な事は教えてもらっている。朝、夕、利用者さんにあいさつしている。	
19		本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 月1回の新聞発行により、施設での様子などを知らせている。家族の来所持に、本人の様子を伝えたりして声かけを心がけている。ケアプランは本人家族の意向を取り入れて支援している。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 入所と同時に馴染みの方の面会が途切れがちになるが、たまに知人、近所の方が来所される事はある。職員の人数上、支援するのは難しい。 (外部評価) ドライブの際に、山の景色が故郷に似ていると言われる利用者があり、ご本人の道案内で自宅に行ってみられたこともある。事業所にお友達や親戚の方が訪ねて来て下さることもある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 耳が遠いなどの身体上の理由で、利用者同士の関わり合いは少ないが、職員が中に入り話をつなげる事はある。利用者同士がトラブルになる場合は、職員が間に入り、仲介役となっている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 契約の終了後の継続的な関係はないが、行ってきたい。移動されたところに行く機会があれば、会って話ができる。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ケアプラン作成時本人、家族にききとりしている日々の中で、くみとろうと勤めている。だいたいは、本人の希望に沿って、暮らしておられると思う。 (外部評価) 入居時に、ご本人やご家族から知り得た情報を留めておられる。日々、職員が気付いた利用者の思い等は、申し送りや職員会議等で、伝えあうようにされている。	さらに、利用者個々のアセスメントの充実をすすめ、ご本人の思いや意向を踏まえて、介護計画の作成につなげていくような取り組みもすすめていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) サマリー、家族、本人から情報を得る。長く勤務している職員から聞く。スタッフ会などで行っている。ほとんどの方が施設で1年以上暮らしておられるので、今の生活に馴染んでおられる。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 毎日のバイタル測定や介護記録、申し送り、スタッフ会などで、把握に努めている。一人ひとりの状態あわせ、自室で過ごされたり、希望のある方に関して、職員が声かけして、休まれている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 毎月1回スタッフ会にて、話し合いが行われている。ケアプランは本人、家族の意向をふまえ、スタッフ会でのカンファレンスにより、評価見直しを行って、現状に即したものを作成している。</p> <p>(外部評価) 介護計画は、利用者やご家族の要望・意向をお聞きして、職員会で話し合い作成されている。6ヶ月毎に見直しをされている。</p>	<p>ご本人がより良く暮らすための介護計画が作成できるように、ご家族とも相談されたり、ご本人にかかわる人達の意見やアイデアを反映して作成するような取り組みが期待される。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 毎日介護記録に記入し、朝、夕の申し送りにより、全員が情報を共有するよう努めている。変わったことわかないか、ケアプランに沿ったケアができていないか留意している。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) GHとして、できる範囲で本人や家族の希望する生活が送れるよう、支援に努めている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 地域資源を本人が利用することはできていない。緊急時(俳諧など)の助け合いネットワークがつけられている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 主治医に、毎日報告を行っている。定期的に往診して もらっている。内科以外にも必要に応じて受診してい る。希望により歯科は施設内治療してもらっている。	
			(外部評価) 協力医から24時間体制で医療が受けられるよう になっている。協力医とご家族が電話や直接会ってお話 しをする機会もある。ご家族の希望を聞き、眼科や内 科等、これまでかかっていた専門医で診てもらえるよ う支援されており、ご家族が付き添えない場合には、 職員が同行されている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 定期的に看護師が来所し、利用者に関わる中で、状態 を把握している。スタッフは相談、アドバイスをも らったりすることができる。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行ってい る。	(自己評価) 入院は母体病院の場合が多く情報交換はできている。 入院時は、管理者が週一回以上の訪問により様子を把 握している。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につ いて、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 管理者と本人、家族の間での話し合いはされている。 GHでの医療行為には限界があり母体病院があるため、 そちらへの入院となると思われる。	管理者は、利用者が重度化になった場合の支援につ いて「職員間で話し合いを重ねていきたい」と話されて いた。ご家族とも話し合いを重ね、納得のいく支援に 取り組んでいかれることが期待される。
			(外部評価) ご家族は「できる限りホームで見てもらいたい」と希 望される方も多いようだが、「食事が摂れなくなった 場合」は、ご家族と相談して母体病院に入院される方 もある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 定期的に勉強会が開催されており、交代で参加している。実践力は十分身につけているとはいえない。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 避難訓練を行っている。緊急時の連絡網、役割分担が決まっている。夜間は職員が一人であり不安がある。地域との協力は運営推進会議などをお願いはしているが、働きかけ、かかわりが十分とはいえない。 (外部評価) 火災を想定した避難訓練を併設のデイサービスと共に、年2回行っておられる。夜間いざという時には、地元の職員が駆けつけるようになっている。食後の煙草が楽しみな利用者の方には、ベランダで職員が煙草に火をつけておられた。	 避難訓練時の課題や職員の不安なこと等をもとにして、今後も訓練を重ねていかれてほしい。又、消防署の協力を得てアドバイスをいただいたり、地域の方達と共に訓練を行う等、体制作りをすすめていかれることが期待される。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 声かけ対応には気をつけているが、スタッフによって様々である。プライバシーは守られている。 (外部評価) 職員会等で利用者への接し方について話し合っておられる。職員は、利用者に笑顔で言葉をかけ、肩もみを互いにされている様子が見られた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 利用者の思いや希望をくみ取るよう、つとめている。本人の意志を聞くようにし、話に耳を傾け、ゆっくりかかわりたいとおもっているが、忙しい時など十分にはできていない。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 日によって職員の数が少ない場合があり排泄、食事、入浴などに時間をとられ、希望に沿った十分な支援ができていない。強制せず、ゆっくり過ごして頂ける様声かけ介助している。自分のペースで過ごされていると思う。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 月に一回美容師に来てもらい希望者にはカットしてもらっている。ヘアピン、ヘアバンドなどされおしゃれまではいかないがされている。身だしなみなど支援は努めている。本人がおしゃれな洋服を選ばれて着られる方もいる。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 季節の物を使っての献立をつくり同じ物を食べていたいている。一人ひとりの口に合うよう小さくカットしたり、ブレンダーにかけている。今は、インフルエンザのため、食材を切ったりの手伝いはされていないが、テーブル拭きやお盆ふきをされています。 (外部評価) 事業所では、今年8月から、法人内の栄養士が立てた献立にすることを試しておられるところである。食材は町の商店が配達してくれるようになっており、職員が調理するようになっている。裏の畑で利用者と育てた野菜が食卓に上ることもある。職員と利用者は同じものを食べておられた。	衛生面等にも十分に配慮しながら、食事一連の流れの中で利用者が活躍したり、役割を持てるような支援も期待される。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量は記録して把握できている。嚥下状態の悪い方はトロミを使用したり、キザミ食にし提供している。量がとれない時は、Drに相談して栄養補助食品で補う指示を頂く。水分も声かけでのんで頂くよう努めている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 習慣になって毎食後の口腔ケア出来ている。介護度の高い人は、毎食後誘導して、介助その人にあった支援法をとっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄の時間を記録し時間を見計らってトイレ誘導を行っています。夜間も失敗のないよう声かけしトイレ誘導している。残存能力を生かしてできるだけトイレで用を足してもらうようにしている。	
			(外部評価) 利用者個々の排泄パターンを記録して、トイレ誘導を行ってられる。できるだけトイレで排泄できるようトイレの近い居室へ移動されたり、状態に合わせた紙パンツの使用等、介護用品についても配慮をされている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 牛乳や食物繊維の多い食べ物を摂取して頂く、水分をすすめるなどとりこんでいます。医療連携の協力を得て便秘の対応は充分に行っている。食べ物による調整薬など、個々に応じて取り組んでいます。	
			(外部評価)	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) ケアプランに基づき行えている。スタッフの人数、都合により、2~3日に一度の入浴支援している。声かけにより、拒否の場合無理に進めていない。身体に応じてリフト欲を使用して安全に入られるように努めている。	
			(外部評価) 2~3日に一度は入浴できるよう支援されている。前日入浴していることを忘れて、入浴を希望される方には、希望に沿って支援されている。入浴しない日には、体を拭いて下着は毎日取り換えるようにされている。状態によっては、デイサービスのリフト浴を利用されている方もいる。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 日中は、好きな時間に休まれている、本人のペースに合わせて自室に休んでもらっている。個々の状態、希望に合わせている。ゆったりとした生活支援を心がけている。夜間は、温度調節、室温に気をつけている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) たくさん薬を服用されている人が多いため全部は、把握できていないが夜勤の時に見るようにしている。薬の内容を理解にしきちんと服用されるよう支えている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 家事の好きな方には、洗濯たたみ・干しなどしていただいている、またぬりえや計算などされている方もいます。出来る方にはしてもらっています。マンネリ化しがちな日々なのでもっと楽しい事を工夫していきたい。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 気候の良い時には、月1回お出掛けしています。行事ごとでお出掛けすることがある。スタッフの人数に余裕のある時は、買い物や散歩などで外に出るようにしている。	
			(外部評価) 利用者も一緒に買い物に行かれたり、ふたみにドライブに出掛けることもある。 人員的に外出支援がむづかしい面もあるようだが、利用者の希望等も聞き取り、行ってみたい場所に出かけてみるような支援にも取り組んでいかれてはどうか。又、日常的にちょっと外に出て楽しめるような雰囲気等、環境作りにも工夫されてみてほしい。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 自分の意思で買い物に行きたい人は、おられない。たびたび来られる家族が多く余りお金を必要とされない。自分で管理できないので、ホームで立て替えるようにしています。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) こちらから電話をかけた、手紙を書く人は、いないが公衆電話があり毎週1回かけてこられる方がいます。本人さんから希望があれば支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	裏庭には花が植えてあり、見て楽しんでおられる。日差しが入る時はブラインドで調節している。清潔を心がけ心地良く過ごせるよう支援している。玄関、リビング等を季節感を味わえるように工夫している。	
			(外部評価)		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)	食堂、玄関、廊下のあちこちにソファなどをおいているので利用者さん同士と一緒に座って話せることができる。	
			(外部評価)		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	冷蔵庫やテレビを持ち込まれている方があり、食事以外に食べたり、自室でテレビを見てのんびりされている。家具、電化製品は、自由に持ち込みしてもらっているので本人の作品なども貼っている。	
			(外部評価)		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	廊下や居間などいたるところにてすりがつ付けてあり、安全に配慮されている。また、手すりを利用し運動などされています。施設内には、野菜畑も作っており、季節の花にもふれられるように工夫している。	
			(外部評価)		